

# 平成20年1月教育委員会定例会会議録

## 報告事項

報 第15号 平成20年度和歌山県公立小・中学校管理職候補者選考検査（第2次検査）の判定について

西原小中学校課長から、平成20年度和歌山県公立小・中学校管理職候補者選考検査（第2次検査）の判定について、受験者数、合格者数、最終合格率等の結果報告があった。

委員から、教頭の部における最高年齢の合格者について質問があり、小中学校課長から本人の意欲と面接試験結果、学校関係者及び関係教育委員会の意見等に基づいて合格を決定したとの説明があり、報告のとおり了承された。

報 第16号 平成20年度和歌山県公立学校管理職採用特別選考検査（第2次検査）の判定について

小中学校課長から、平成20年度和歌山県公立学校管理職採用特別選考検査（第2次検査）の判定について、公募による採用特別選考における受験者数、合格者数等の結果報告があった。

委員から、学校が活性化するために年齢や性別等に関係なく多様な人材を確保してほしいとの意見があり、報告のとおり了承された。

## 付議事項

議案第57号 平成19年度末教育委員会事務局等職員人事異動方針（案）について

中村総務課長から、平成19年度末教育委員会事務局等職員人事異動方針（案）について説明があった。主な内容は3点あり、まず、事務局等組織の機能充実、行政事務の効率的運営及び企画立案機能向上のために事務事業の整理合理化を進めるとともに、重点施策を一層進展させるために適材を適所に配置すること、2点目に、能力・実績を重視して積極的に人事交流を進めること、

3点目に勤務評定結果や本人の希望により、長期的な観点から優秀な人材を抜擢・登用することで組織の活性化を図るということであった。

委員から、学校との人材の交流と適切な配置について質問があり、総務課長から経験の活用と人材育成の観点から適正な配置について十分検討したいとの説明があった。

委員から、より良い教育環境を確保するため、市町村教育委員会と連携して人材の偏在を回避し、組織の活性化を図る人事交流に努められたいとの意見があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

#### 議案第58号 平成19年度末教職員人事異動方針（案）について

熱川県立学校課長から、平成19年度末教職員人事異動方針（案）について、本県教育の一層の充実・発展、適正な学校運営及び学校と地域との活性化を図るため、市町村教育委員会との連携のもとに全県的視野に立った人事異動、校種間・市町村間の人事交流等を行うとの説明があった。

委員から、本県の抱える教育課題を解決するとともに、本県が目指す教育施策を実現するために、核となる学校づくりを検討しながら人事異動を行ってほしいとの意見があった。

委員から、市町村教育委員会からの意見等を精査して人事異動を行ってほしいとの意見があり、教育長から小中学校教職員の異動に際しては、地方教育事務所が廃止されている中で、市町村教育委員会から意見等を十分聴取したうえで人事異動を行っていきたいとの発言があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。